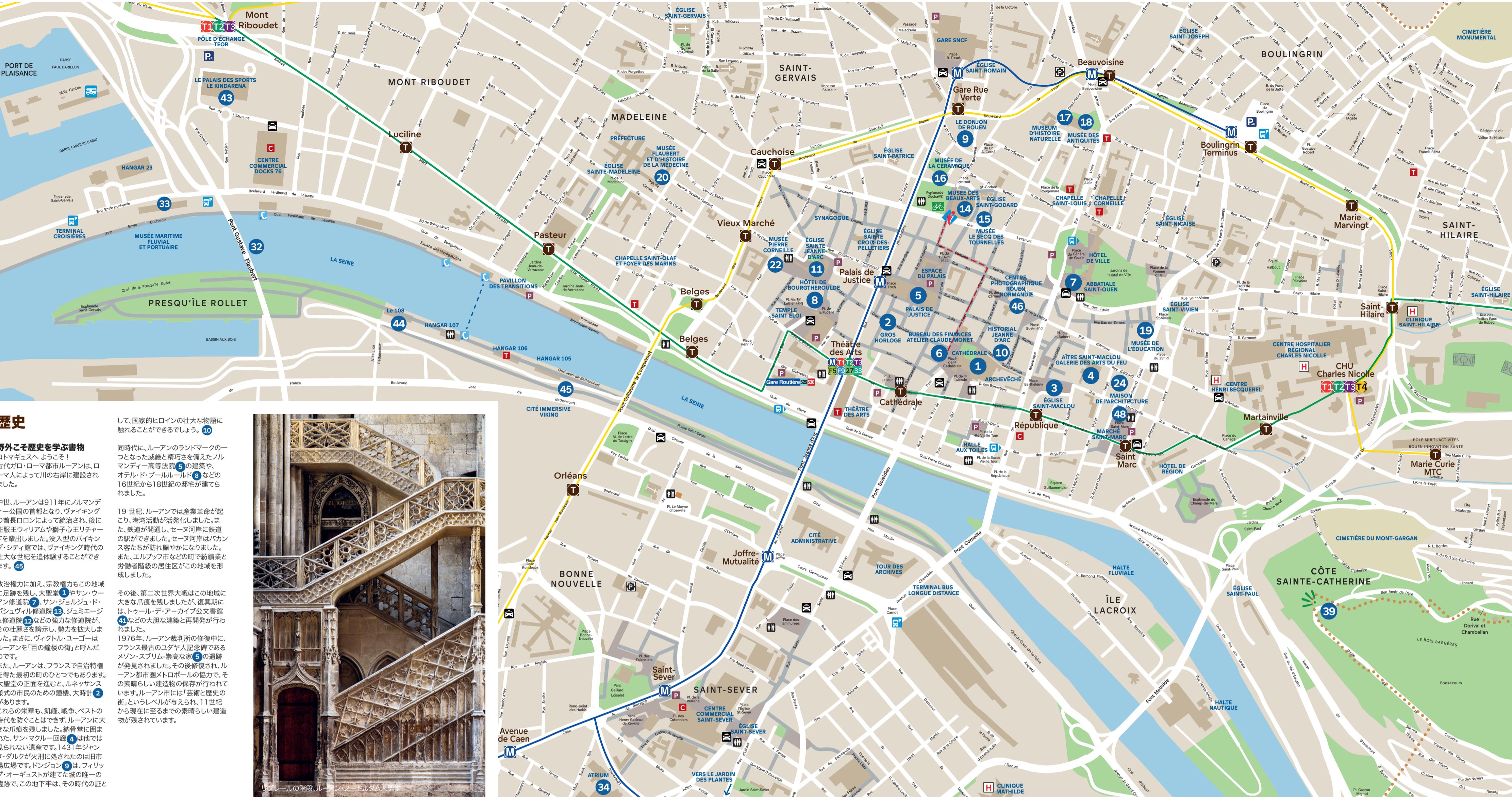
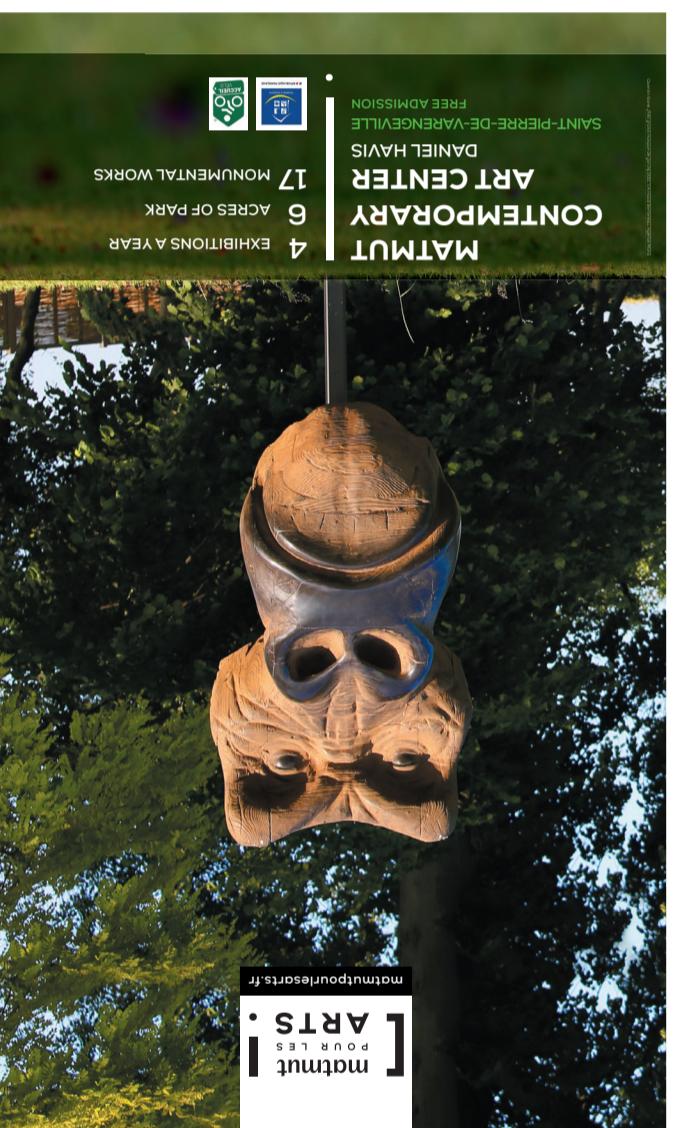




# TOURISME



## アート

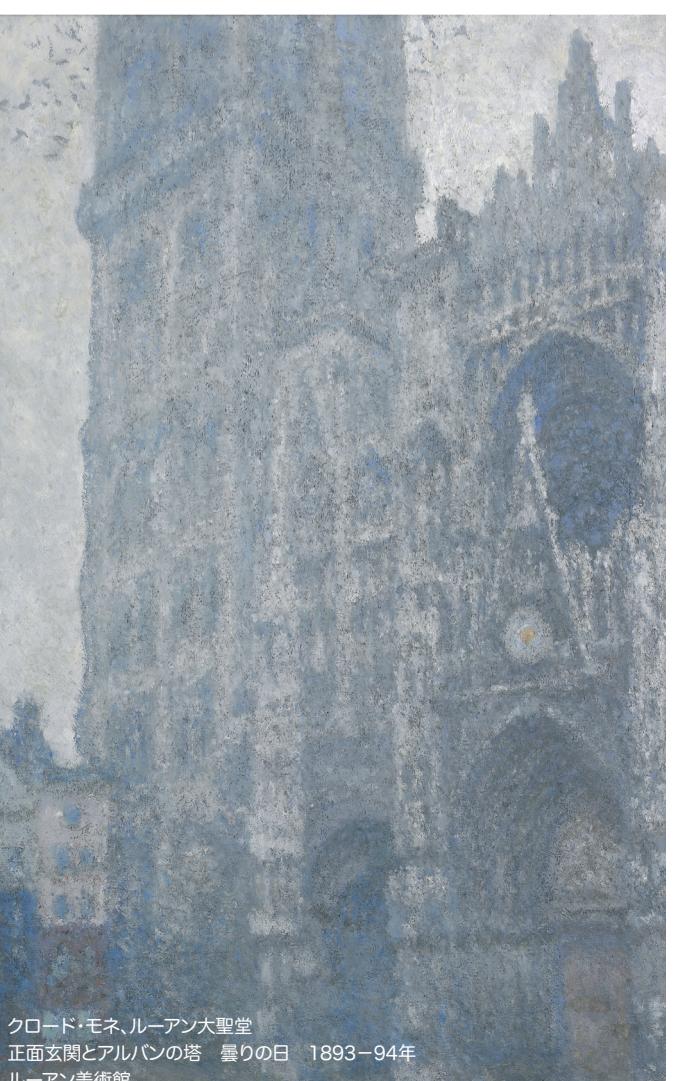
#### インスピレーションの地

大聖堂の正面、クロード・モネのアトリエ⑥やセーヌ河畔の周辺の村々では、画家たちが無尽蔵のインスピレーションの源を見つけました。それらの印象派の傑作がルーアン美術館⑭に展示されています。ルーアン市とルーアンメトロポール(周辺市町村)には、美術を愛する方たちにお楽しみいただける無料の美術館が数多くあります。考古学博物館⑯と自然史博物館⑰はかつての修道院があった建物に、陶磁

置されています。

鉄工芸がお好きな方には、ル・セック・デ・トゥルネル美術館<sup>15</sup>がお薦めです。世界最大のコレクションを誇る教育博物館<sup>19</sup>も、学生時代を懐かしむ人には魅力的でしょう。古い工芸品や陶磁器は骨董品店が集まる地区のウインドウに並び、サン・マクルー回廊<sup>4</sup>には、ファイアーアートギャラリーが出来ました。周辺の田園地帯には、サン・ジョルジュ・ド・ポズヴィユ修道院<sup>20</sup>からモーリエージュ修道院<sup>21</sup>など、建立ちか所医学のフローラで、フローラに出しま少期にクロノできまアート

の口マイスク建築の修道院へと続く巡礼道になっています。

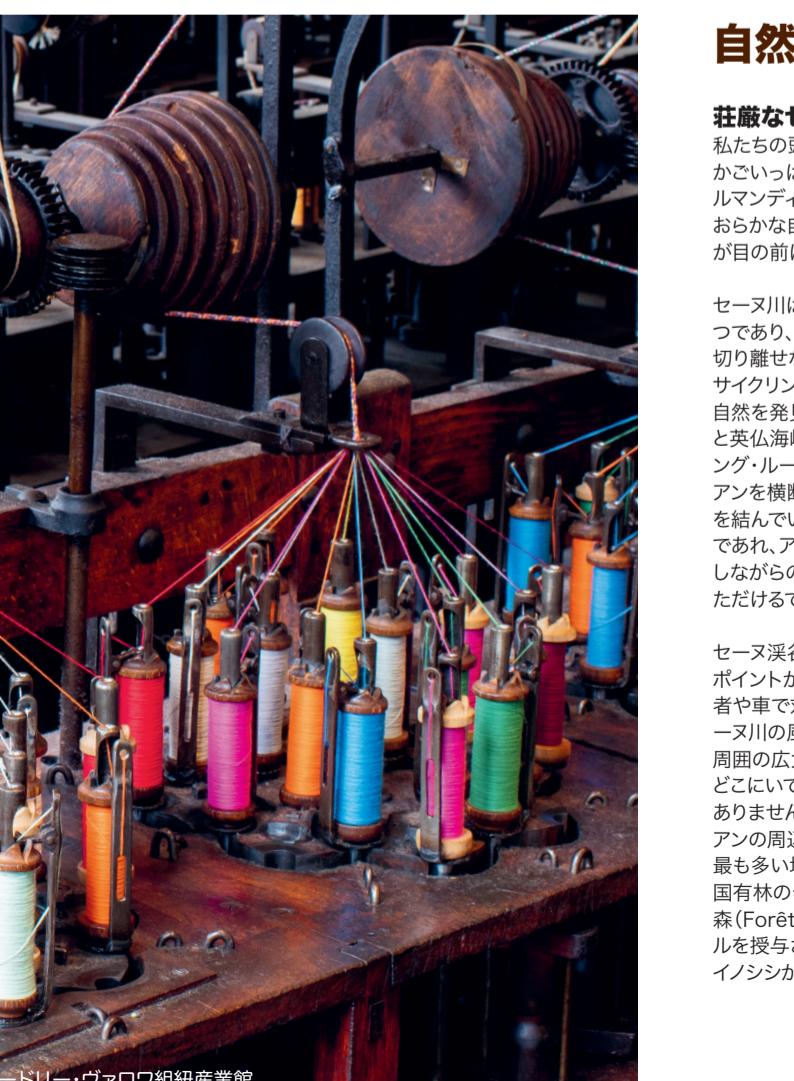


三

## 発展の過程

港の歴史は、ヨーロッパの開拓時代から始まり、川舟による物資輸送によって栄えた。現在は、港湾、土器、化学工業など、多様な産業が発展している。また、陶磁器やアートギャラリーなどの文化施設も充実しており、観光客の訪問も多い。この町は、豊かな自然環境と歴史的遺産を兼ね備えた、魅力的な観光地である。

ブル水車の裏手には、蒸気機関、屋、活版印刷工房などのユニーク  
クションを所蔵するエクスポート  
産業博物館**28**があります。ル  
世の毛織物工場があったエルブ  
は、19世紀後半に大きな発展を  
しました。エルブッフは、そう遠くな  
くの名残を最もよく保存した地域  
アブリック・デ・サヴォワール産業  
やサーカス・演劇場**29**のあるブ  
ラン工場跡など、産業遺産の  
的な改裝が施されています。コー  
・ヴァロワ組紐産業館**31**は、色  
りのロープボン製造機が並ぶ、  
生きた博物館です。



四

には、リンゴの木、牛、  
草薙劍など、日本の特有の景観を反映するものはない。

ところに登って、ルーアンの最も美しい  
パノラマとブーケル・ド・ラ・セーヌ・ノル  
マンド地域公園を発見してください。サ  
ントモリス、モントロワ、モントルイ

**40**からは、息をのむようなパノラマが広がり、セーヌ川、森林に覆われた丘陵、白亜の崖に挟まれた街の成り立ちを理解することができます。

ぶセーヌ川のサイクリング（*Saône à Vélo*）は、ルート100キロ、22の市町村を熟練したサイクリストアであれ自然を満喫、ワーリングをお楽しみい。また、いくつかの渡し舟のことでも有名です。歩行渡ることができます。セーヌ川の眺めを楽しむことができます。

ノルマンディー悪魔公、ロベール・ル・ディアブルの城<sup>35</sup>からロンド・ルヴレーの森、ロッシュ・フュエ・ドリヴァル<sup>36</sup>まで、セーヌ渓谷の壯観な眺めを楽しむことができます。

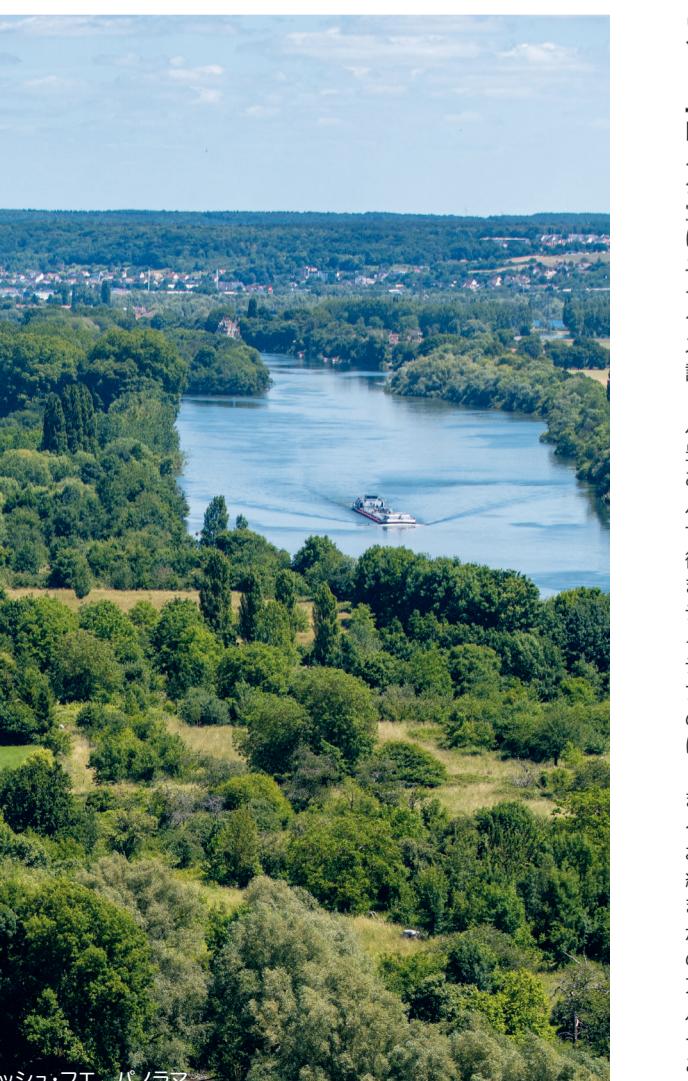
エルブッフ市のサン・オークの丘<sup>37</sup>やベルブッフ市のサン・アドリアンの丘からは、セーヌ川とその周囲の森の息を呑むような眺めをご覧いただけます。

デュクレールとバルヌヴィル・シュル・

ルーマニアの首都は、  
木立に囲まれた街並みが  
有名です。ルーアンの  
南から遠く離れることは  
マンディーの首都ルー  
マニアの中でも森が  
言われています。その  
つが、国から「例外的な  
ception)」というラベ  
います。

する4,000ヘクタール  
と、**ルーマニア**には、ブルー・湖、シエ  
エージュ、余暇を楽しみ、自然の中で泳  
げる自然パークを見渡せる展望台が  
あります。

ノルマンディーの首都ルーアンの南に  
は、ベダンヌのレジャーセンターがあ  
り、ウォータースポーツを楽しむことが  
できます。



# ガストロノミー

# ユネスコの栄冠に輝くガスト 二位

ノルマンディーは、シードル、チーズ、ホタルティなど、豊富な食材にあふれる食の宝庫です。果樹園や世界最高級の食卓にのる食材、籠から皿まで、ルーアンはユネスコの「美食の創造都市」ネットワークに選ばれています。このネットワークは、持続可能な取り組みと、優れたガストロノミーを推進する都市の努力を評価するものです。

ルーアンでは、美食は歴史的建造物の豊かな遺産と切っても切れない関係にあります。地元の食材を味わうことは、ルーアンの歴史とルーツに浸るようです。レストランの数が650を超えるこの街では、美味しい食文化が培われています。ルーアンのシェフたちは、ノルマン

イを注いでいます。その中でもクラブ・デ・トック料理協会は、ルーアンのトップシェフや食に関する職人を集め、この街の豊かな美食遺産の継承と保存に尽力しています。

また、毎年ルーアンでは、家族で楽しめるイベント、フェット・デュ・ヴァントルのお腹のお祭りで賑わっています。何世紀にもわたってグルメの人たちを楽しませてきたルーアンの特産品のひとつが、水、砂糖、カラメル、リンゴとレモンの香料から作られるシュクリ・ド・ルーアンです。ノートルダム・ド・ポンデヴィルにある工房兼ショップ「コンフィズリー」<sup>42</sup>では、その製造工程を見学することができます。

